

〈特集「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」他〉

## 大阪方言：

特集補遺データ「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」  
「所有・存在表現」「他動性」「連用修飾複文」「情報構造と名詞述語文」「情報構造の諸要素」  
「否定、形容詞と連体修飾複文」

### Japanese Osaka dialect:

‘Passive Expression’, ‘Aspect’, ‘Modality’, ‘Voice and related expressions’, ‘Expressions of possession and existence’, ‘Transitivity’, ‘Complex sentences of adverbial modification’, ‘Information structure and nominal predicate sentences’, ‘Markers of information structure’ and ‘Negation, adjectives, and complex sentences of adnominal modification’

福盛 貴弘

Takahiro Fukumori

大東文化大学

Daito Bunka University

**要旨：**本稿は特集補遺「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」「所有・存在表現」「他動性」「連用修飾複文」「情報構造と名詞述語文」「情報表示の諸要素」「否定、形容詞と連体修飾複文」(『語学研究所論集』第14-23号, 2009-2018, 東京外国語大学)に寄与するものである。

**Abstract:** This report contributes to the special cross-linguistic study on ‘Passive expression’, ‘Aspect’, ‘Modality’, ‘Voice and related expressions’, ‘Expressions of possession and existence’, ‘Transitivity’, ‘Complex sentences of adverbial modification’, ‘Information structure and nominal predicate sentences’, ‘Markers of information structure’ and ‘Negation, adjectives, and complex sentences of adnominal modification’ (Journal of the Institute of Language Research 14-23, 2009-2018, Tokyo University of Foreign Studies).

**キーワード：**受動表現、アスペクト、モダリティ、ヴォイスとその周辺、所有・存在表現、他動性、連用修飾複文、情報構造と名詞述語文、情報表示の諸要素、否定、形容詞と連体修飾複文

**Keywords:** passive, aspect, modality, voice, possession, existence, transitivity, complex sentence, adverbial modification, information structure, nominal predicate, negation, adjectives, adnominal modification

## 0. はじめに

本稿のデータは、言語形成地が大阪府大阪市城東区である筆者(1970年生まれ、男性)の内省に基づくものである。風間氏から依頼を受け、これまでの特集で使われてきた日本語例文を、話し言葉としての大阪方言に訳したものとなる。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。  
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

なお、今回グロスは付けなくてよいという要請だったので、その要請に従った。一方で、以前に大阪方言の文リストを作成した際に、読者からアクセント表記がないと読めないという指摘を受けたので、簡易的なアクセント表記を併記した。アクセント表記の略号については、以下の通りである。Hは高起式、Lは低起式で、数字は下がり目の位置を示している。例えば、4拍語のH3ならHHHL、L3ならLLHLである。数字の0は平板を示し、高起式なら高平、低起式なら語末のみ高くなることを示す。また+の後の表記は、H2なら複合語アクセントの表記であり、R、F、Hなら文末イントネーションである。+Rは曲線上昇調、+Fは急下降調、+Hは段位上昇調を示す。自然下降調の場合は略している。

なお、文末に曲線上昇調が付くか否かについては、個人差（男女差、世代差など含む）があるので、本稿では筆者の内省のみに従って、付けた方が自然と思った時だけ付けている<sup>1</sup>。

## 1. 「受動表現」（語研論集 第14号）

### 1-1 AはBに叩かれた。【直接受身】

次郎は 太郎に どつかれた  
H1 H1 H3

衝撃の度合いによって、「たたかれた」<「どつかれた」<「しばかれた」となるが、3者ともアクセントは同じである。

### 1-2 AはBに足を踏まれた。【持ち主の受身、体の部分】

次郎は 太郎に 足 踏まれた  
H1 H1 H1 H2

格助詞の省略については個人差がある（以下同様なので、以降ではこれを前提として略述する）が、筆者の内省では、この文では「を」がない方が自然であり、「は」「に」は省略できない。

### 1-3 AはBに財布を盗まれた。【持ち主の受身、持ち物】

次郎は 太郎に 財布 パクられた  
H1 H1 H0 H3

この文では「を」がない方が自然であり、「は」「に」は省略できない。

### 1-4 昨日の夜、私は赤ん坊に泣かれた。それでちっとも眠れなかった。【自動詞からの間接受身】

昨日の 夜 赤ちゃんに 泣かれた そんなで ぜんぜん 眠れなかった  
H0 L0 H1 H2 H0 H0 H4

### 1-5 新しいビルが（Aによって）建てられた。【モノ主語受身、一回的】

新しい ビルが 建てられた  
H3 H1 L3

---

<sup>1</sup> 査読者からの疑問については、その都度注釈として示している。

1-6 カナダではフランス語が話されている。【モノ主語受身、恒常的。動作主が問題にならない場合】

カナダでは                  フランス語が                  話されてる  
 L2                                  H0                                  H0

1-7 財布が (A に) 盗まれた。【モノ主語受身、モノ主語の背後に被影響者が想定される】

財布                  パクられた  
 H0                  H3

この文では、「が」がない方が自然である。

1-8 壁に絵が掛けられている。【モノ主語受身、結果状態の叙述】

壁に                  絵<sup>2</sup>                  掛けられてる  
 H0                  L0                  L0

この文では、「が」はあってもなくても、どちらでも気にならない。

1-9 A は B に / から 愛されている。【感情述語の受身、特に動作主のマーカ-に注目】

次郎は                  花子に                  愛されてる  
 H1                  H1                  L0  
 次郎は                  花子から 愛されてる  
 H1                  H1                  L0

この文では、「から」より「に」の方が好みにあう。

1-10 A は B に / から 「…」と言われた。【伝達動詞の受身、特に動作主のマーカ-に注目】

次郎は                  太郎に                  「そんな あほな」と                  言われた  
 H1                  H1                  H0                  L2                  H2  
 次郎は                  太郎から 「そんな あほな」と                  言われた  
 H1                  H1                  H0                  L2                  H2

この文では、「から」より「に」の方が好みにあう。

1-10-a A さんは B さんに呼ばれて、今 B さんの部屋に行っています。

次郎は                  太郎に                  呼ばれて、                  今                  太郎の                  部屋に                  行ってます  
 H1                  H1                  H2                  L0                  H1                  H1                  H0.

1-10-b B さんが A さんと呼んで、A さんは今 B さんの部屋に行っています。

太郎が                  次郎を                  呼んで、次郎は                  今                  太郎の                  部屋に                  行ってます  
 H1                  H1                  H1                  H1                  L0                  H1                  H1                  H0

<sup>2</sup> 大阪方言の 1 拍語はしばしば長音化して用いられるため、ここでは長音で言うと判断したものについては、長音符をつけている。以下同様。

## 2. 「アスペクト」(語研論集 第15号)

2-1 ~さん(固有名詞)は/あの人はもう来た。

田中さん もう 来はった  
L0 H0 H1

「田中さん」としたので、敬意を示す「はる」がある方が自然である。相手によっては、「さん」があっても「はる」を使わなくてもいい。

田中 もう 来た  
L0 H0 H1

2-2 ~さん(固有名詞)は/あの人はもう来ている。

田中さん もう 来てはる  
L0 H0 H0

田中 もう 来てる  
L0 H0 H0

2-3 ~さん(固有名詞)は/あの人はまだ来っていない。

田中さん まだ 来てはらへん  
L0 L0 H3  
田中 まだ 来てへん  
L0 L0 H2

2-4 ~さん(固有名詞)は/あの人はまだ来ない。

田中さん まだ けへん  
L0 L0 H1

2-5 ~さん(固有名詞)は/あの人はもう(すぐ)来る。

田中さん もう ちょいで 来はる  
L0 H0 H1 L0  
田中 もう ちょいで 来る  
L0 H0 H1 L0

2-6 (あ!) ~さんが来た! [その人が来るのに気づいた場面での発話]

田中さん 来はった!  
L0 H2  
田中 来た!  
L0 H1

2-7 昨日～さんが来たよ。

昨日 田中さん 来はったよ  
 H1 L0 H2  
 昨日 田中 来たよ  
 H1 L0 H1

2-8 昨日～さんは来なかったよ。

昨日 田中さん 来はらへんかったよ  
 H1 L0 H3  
 昨日 田中さん けへんかったよ  
 H1 L0 H1  
 昨日 田中さん 来なんだよ  
 H1 L0 H1

2-9 (私は) あのリンゴをもう食べた。

あの リンゴ もう 食うた  
 H0 H1 H0 L0  
 あの リンゴ もう 食べた  
 H0 H1 H0 L2

2-10 私はあのリンゴをまだ食べていない。／私はあのリンゴをまだ食べない。

あの リンゴ まだ 食べてへん / 食べへん  
 H0 H1 L0 L3 L2

2-11 あの人は今 (ちょうど) そのリンゴを食べています／食べているところです。

あの 人は ちょうど その リンゴ 食べてます / 食べてる ところです  
 H0 H1 L2 H0 H1 L0 L0 H1

2-12 窓が開いている／窓が開いていた。

窓 開いてる / 開いてた  
 L0 H0 H3

2-13 私は毎朝新聞を読む／読んでいます。

毎朝 新聞を 読む / 読んでる  
 L3 L0 L0 L0

2-14 あなたは (あなたの) お母さんに似ている。

あんたはおかんに似てる  
 L0 L2 H0

2-15 私はその頃毎日学校に通っていた。

その 頃 毎日 学校 通てた  
H0 H1 L3 L0 H3

2-16 私は～に（大きな街の名前など）行ったことがある。

私 通天閣に 行ったこと ある  
L0 L3 H1 L0

2-17 やっとバスは走り出した／走り始めた。[開始]

やっと バス 走り出した。 /走り始めた  
H1 H1 H4 H5

2-18 昨日彼女はずっと寝ていた。[長時間継続]

昨日 彼女は ずっと 寝てた  
H1 H1 H1 H2

2-19 私はそれをちょっと食べてみた。[試行]

それを ちょっと 食べて みた  
H0 H1 L0 H1

2-20 あの人はそれ（ら）をみんなに分け与えた。[多くの（間接）目的語に対する多回のアスペクト]

あの 人は それらを みんなに分け与えた  
H0 H1 H2 L2 L0+H2

2-21 さあ、（私たちは）行くよ！

ほな、 行くよ  
H1 H2

「行くで」は、今の若い世代はほぼ使わなくなっている気がする。「行くで」でもアクセントは同じである。

2-22 地球は太陽の周りを回っている。[恒常的な真理]

地球は 太陽の 周りを 回ってる  
L0 L2 H1 H0

2-23 あの木は今にも倒れそうだ。[将然相]

あの 木一 そのうち 倒れそうや  
H0 L0 H0 H4.

2-24 （私は）あやうく転ぶところだった。[未実現の事態]

もうちょいで 転ぶ ところだった  
H3 H0 H1

2-25 明日客が来るので、パンを買っておく。[準備]

あした 客 来るんで パン こーとく  
 H0 H0 L2 H1 H0

2-26 (私は) ～に (街とか市場とか) 行ったとき、この袋を買った。

百貨店に行った とき、 この 袋 こーた  
 L3 H1 H1 H0 L2 H1

2-27 (私は) ～に (街とか市場とか) 行く時／行く前に、この袋を買った。

百貨店に行く 前に この 袋 こーた  
 L3 H0 H1 H0 L2 H1

この文で「百貨店に行く時」というのは、何かしらの不自然さを感じる。

2-28 (私は) 彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた。

彼が 市場で この 袋を こーたんを 知ってた  
 H1 L0 H0 L2 H1 L3

<参考>

リンゴが 赤うて /リンゴが 赤かって  
 H1 L2 H1 H2

大阪方言では、形容詞のテ形に現在（ウ音便にならなくてもよい「赤くて／あこーて」）と過去「～かって」の区別がある。

### 3. 「モダリティ」(語研論集 第16号)

3-1 (その仕事が終わったら) もう帰ってもいいですよ。【許可】

もう 帰って ええよ  
 H0 H1 L0

3-2 (腐っているから、あなたは) それを食べてはいけない／それを食べるな。【禁止】

食べたら あかん /食べんな  
 L2 H0 L2  
 食うたら あかん /食うな  
 L3 H0 L2

「食べんとき(食わんとき) L0」は「食べる(ん)な」よりは弱めの禁止である。

3-3 (遅くなったので) 私たちはもう帰らなければならない。【義務】

|    |      |     |
|----|------|-----|
| もう | 帰らな  | あかん |
| H0 | H3   | H0  |
| もう | 帰らんと | あかん |
| H0 | H0   | H0  |

ともに「あかん」はなくてもかまわない。

3-4 (雨が降るそうだから) 傘を持って出かけたほうがいいよ。【推奨】

|    |       |     |     |     |
|----|-------|-----|-----|-----|
| 傘  | もって   | いった | ほうが | ええよ |
| L0 | L0    | H1  | H1  | L2  |
| 傘  | もってった |     | ほうが | ええよ |
| L0 | L3    |     | H1  | L2  |

3-5 歳をとったら、子供の言うことを聞くべきだ／聞くものだ。【評価的義務】

|    |      |     |    |     |             |
|----|------|-----|----|-----|-------------|
| 歳  | とったら | 子供の | 言う | ことを | 聞くべきや／聞くもんや |
| H1 | L3   | H0  | H0 | H1  | H3 H3       |

3-6 お腹が空いたので、(私は) 何か食べたい。【希望】

|    |       |     |      |
|----|-------|-----|------|
| 腹  | へったんで | なんか | 食いたい |
| H1 | H1    | L2  | L2   |
| 腹  | へったんで | なんか | 食べたい |
| H1 | H1    | L2  | L2   |

3-7 私が持ちましょう。【意志】

持ちましょか  
L0  
持とか  
L0  
持つよ  
L2

「持ちましょか」「持とか」の後に曲線上昇調は加わりにくい。段位上昇調を加えると、押しつけがましい感じがする。

3-8 じゃあ、一緒に昼ご飯を食べましょう。【勧誘】

|    |     |    |        |
|----|-----|----|--------|
| ほな | 一緒に | 昼飯 | 食いましょか |
| H1 | L0  | H0 | L0     |
| ほな | 一緒に | 昼飯 | 食おか    |
| H1 | L0  | H0 | L0     |

「食いましょか」「食おか」の後に曲線上昇調は加わりにくい。段位上昇調を加えると、押しつけがま



しい感じがする。

3-9 一緒に昼ご飯を食べませんか？【相手の意向が不明な場合の勧誘】

一緒に 昼飯 食べませんか？

L0 H0 L0

一緒に 昼飯 食べへん？

L0 H0 L2+R

「食べませんか」の後に曲線上昇調は加わりにくい。段位上昇調を加えると、押しつけがましい感じがする。一方で、「食べへん」は曲線上昇調がないと勧誘している感じがしない。

3-10 明日、良い天気になるといいなあ。／明日は良い天気になってほしいなあ。【希望】

あした ええ 天気に なったら ええなあ

H0 L0 H1 L3 L0+F

あした ええ 天気に なって くれたらなあ

H0 L0 H1 L3 H1+F

あした ええ 天気に なって ほしいわ

H0 L0 H1 L3 H1

3-11 (私はここで待っているから) すぐにそれを持って来なさい。【命令】

すぐに それ 持って 来い

H1 H0 L0 H1

すぐに それ 持って 来なさい

H1 H0 L0 H2

「来る」だと「来い」といったように、日本語共通語と同じである。動詞の一部の連用形が命令形のように使われる「きー」は筆者は用いない。なお、「読む」なら「読め」「読みー」、「食べる」なら「食べるろ」「食べー」、「する」なら「しろ」「しー」が命令形になる。筆者は、「する」の命令形は「せー」を好んで使うので、連用形が命令形で使われるという点から見ても、「来る」「する」は変格活用と言える。

3-12 そのペンをちょっと貸していただけませんか？【懇願】

その ペン ちょっと貸して くれへん？

H0 H1 H1 H0 H1+R

3-13 あの人は中国語が読めます。／あの人は中国語を読むことができます。【能力可能】

あの 人は 中国語が 読めます

H0 H1 L0 L0

あの 人は 中国語が 読む ことが できます

H0 H1 L0 L0 H1 H0

3-14 明かりが暗くて、ここに何が書いてあるのか、読めない。【状況可能】

|      |      |   |      |     |    |     |      |       |
|------|------|---|------|-----|----|-----|------|-------|
| あかりが | くらーて | ／ | くろーて | ここに | 何が | 書いた | ーるんか | 読まれへん |
| H0   | L2   |   |      | L2  | L0 | L3  |      | L2    |

「読まれへん」は能力不可能でも状況不可能でもどちらにでも使える。「よう読まん」は能力不可能である。

|     |    |       |    |     |
|-----|----|-------|----|-----|
| こんな | 言語 | 知らんから | よう | 読まん |
| H0  | H1 | H3    | H0 | L0  |

3-15 (朝早く出発したから) 彼らはもう着いているはずだ／もう着いたに違いない。【確信】

|     |    |      |     |   |       |      |
|-----|----|------|-----|---|-------|------|
| 彼らは | もう | 着いてる | はずや | ／ | 着いたんと | ちゃうか |
| H1  | H0 | L0   | H2  |   | L3    | H0   |

「着いてるはずや」「着いたんとちゃうか」の後に曲線上昇調を加えるのは、かなり不自然である。

3-16 (あの人は) 明日はたぶん来ないだろう。【推量】

|      |     |      |    |
|------|-----|------|----|
| あしたは | たぶん | けーへん | やろ |
| H0   | H1  | H1   |    |

3-17 彼らはまだ来ないなんて、きっと途中で車が壊れたんじゃないか。【疑念】

|     |    |         |     |    |       |      |
|-----|----|---------|-----|----|-------|------|
| 彼らが | まだ | 来てへんのんは | 途中で | 車  | 壊れたん  | ちゃうか |
| H1  | L0 | H2      | H0  | H0 | H2    | H0   |
| 彼らが | まだ | 来てへんのんは | 途中で | 車  | 壊れたんや | ないか  |
| H1  | L0 | H2      | H0  | H0 | H2    | L0   |

「壊れたんちゃうか」の後に曲線上昇調を加えるのは、かなり不自然である。「壊れたんやないか」の後に曲線上昇調を加えるか否かについては、筆者は付けない方が自然だが、付けてもおかしくはない。

3-18 (昼間だからあの人は家に) さあ、いるかもしれないし、いないかもしれない。【可能性】

|    |      |      |       |     |
|----|------|------|-------|-----|
| さあ | おるかも | しらんし | おらんかも | しらん |
| H1 | H1   | H3   | H3    | H0  |

3-19 (額に触ってみて) どうもあなたは熱があるようだ。【視覚／聴覚以外の感覚による判断】

|    |    |       |
|----|----|-------|
| 熱  | ある | みたいやな |
| H1 | L0 | H1    |

3-20 (天気予報によれば) 明日は雨が降るそうだ。【伝聞】

|      |    |       |
|------|----|-------|
| あしたは | 雨が | 降るそうや |
| H0   | L2 | L3    |

3-21 もしお金があつたら、あの車を買うんだけどなあ。【反実仮想】

もし 金 あつたら あの 車 買うんやけどなあ  
 H1 H0 L3 H0 H0 H1+F.

3-22 もしあなたが教えてくれていなかったら、私はそこにたどり着けなかったでしょう。【反実仮想過去】

あんたが 教えて くれてへんかったら そこに 着かれへんかったやろな  
 H1 H0 H3 L2 L2+H

3-23 (あの人は) 街へ行きたがっている。【3人称の主体による希望】

街へ 行きたがってる  
 H1 H0

3-24 僕にもそれを少し飲ませろ。【1人称命令】

俺にも それ 少し 飲ませろ  
 L2 H0 H2 L3  
 俺にも それ 少し 飲ませや  
 L2 H0 H2 L3

3-25 これはあの人に持って行かせろ／持って行かせよう。【3人称命令】

これは あの 人に 持って 行かせろ  
 H0 H0 H1 L0 H3  
 これは あの 人に 持って 行かせよう  
 H0 H0 H1 L0 H4

「持って行かせー」は、筆者は言わない。

3-26 そのテーブルの上のお菓子は後で食べなさい。【遠未来命令形】

その テーブルの 上の お菓子は 後で 食べー  
 H0 H0 H0 L2 L2 L2

3-27 もっと早く来ればよかった。【反実仮想】

もっと はよ 来たら よかった  
 H1 L0 H1 H1

3-28 あなたも一緒に行ったら（どうですか）？【脱従属化】

あんたも 一緒に 行ったら？  
 H1 L0 H1+R  
 あんたも 一緒に 行ったら どないや？  
 H1 L0 H1 H3

3-29 オレがそんなこと知るか！【(疑問詞を含まない) 反語】

俺が      そんなん 知るか！  
L0      H1      H0

3-30 これを作った(料理した)のは、お母さんだよな？/いいえ、私が作ったのよ。【付加疑問】

これ      作ったん お母さんよな？      /ちゃうよ、      私が      作ってん  
H0      L2      L2+H      H2      L0      L2

#### 4. 「ヴォイス」(語研論集 第17号)

4-1-a (風などで) ドアが開いた。【自動詞と他動詞の対立・自動詞による表現】

ドア      開いた  
H1      H1

4-1-b (彼が) ドアを開けた。【自動詞と他動詞の対立・他動詞による表現】

ドア      開けた  
H1      H1

4-1-c (入り口の) ドアが開けられた。【自動詞と他動詞の対立・他動詞の受け身】

ドア      開けられた  
H1      H3

4-1-d ドアが壊れた。【自動詞と他動詞の対立】

ドア      壊れた  
H1      H2

4-2 私は(自分の) 弟を立たせた。【自動詞の使役】

弟を      立たせた  
H0      L2

4-3 私は(自分の) 弟に歌を歌わせた。【他動詞の使役】

弟に      歌を      歌わせた  
H0      H1      H3

4-4-a (遊びたがっている子供に無理やり) 母は子供をパンを買いに行かせた。【強制使役】

母は      子供に      パン      買いに      行かせた  
H1      H0      H1      H0      H2

4-4-b (遊びに行きたがっているのを見て) 母は子供に遊びに行かせた。【許可使役】

母は      子供を      遊びに      行かせた  
H1      H0      L0      H2

強制使役「子供を」、許可使役「子供に」については、4-4の文であれば、筆者にとっては逆の方が自然であった。

4-5-a 私は弟に服を着せた。 【他動詞による表現】

弟に 服 着せた  
H0 H1 H1

4-5-b 私は弟にその服を着させた。 【自動詞の使役】

弟に 服 着させた  
H0 H1 H2

4-6 私は弟にその本をあげた。 【やりもらい、(話者から見ての) 授恩恵と受恩恵の違い】

弟に その 本を あげた  
H0 H0 H1 H1

4-7-a 私は弟に本を読んであげた。 【やりもらい、(話者から見ての) 授恩恵と受恩恵の違い】

弟に 本を 読んだげた  
H0 H1 L3

4-7-b 兄は私に本を読んでくれた。 【やりもらい、(話者から見ての) 授恩恵と受恩恵の違い】

兄は 私に 本を 読んで くれた  
H1 L0 H1 L0 H1

4-7-c 私は母に髪を切ってもらった。 【テモラウ】

母に 髪 切って もろた  
H1 H1 L0 H1

4-8-a 私は(自分の)体を洗った。 【再帰】

体 あろた  
H0 H1

4-8-b 私は手を洗った。 【再帰】

手ー あろた  
L0 H1.

4-8-c 彼は手を洗った。 【再帰】

彼は 手ー あろた。  
H1 L0 H1

4-9 (自分のために) 私はその本を買った。 【自利態】

その 本を 買うた  
H0 H1 H1

4-10 彼らは（／その人たちは）（互いに）殴り合っていた。 【相互】

彼らは どつきあった

H1 H6

4-11 その人たちは（みんな一緒に）街へ行った。 【衆動】

その 人たちは みんなで 街に 行った

H0 H1 L2 H1 H1

4-12 その映画は泣ける（その映画を見ると泣いてしまう）。 【自発】

その 映画 泣ける

H0 H1 H0

4-13-a 私は卵を割った。 【意志／無意志】

卵 割った

L2 H1

4-13-b （うっかり落として）私はコップを割った／割ってしまった。 【意志／無意志】

コップ 割った / 割ってしまった

H1 H1 H0 H1

4-14-a きょう私はコーヒーを飲みすぎて（飲みすぎたので）眠れなかった。 【随意の不可能と不随意の不可能】

昨日 コーヒー 飲みすぎて 眠れなかった

H1 L3 L3 H4

昨日 コーヒー 飲みすぎて 眠られへんかった

H1 L3 L3 H4

4-14-b きょう私は仕事がたくさんあって（たくさんあったので）眠れなかった。 【随意の不可能と不随意の不可能】

昨日 仕事が ぎょうさん あったんで 眠れなかった

H1 H0 H1 L3 H4

昨日 仕事が ぎょうさん あったんで 眠られへんかった

H1 H0 H1 L3 H4

4-15 私は頭が痛い。 【全体と部分・主体・一時的】

頭 痛い

L2 H1

4-16 彼女は髪が長い。 【全体と部分・主体・恒常的】

彼女は 髪 長い

H1 H1 H1

4-17-a 彼は（別の）彼の肩をたたいた。【全体と部分・対象・接触／結果状態が継続的】

彼は 他人の 肩 たたいた  
 H1 H0 L0 H2

4-17-b 彼は（別の）彼の腕をつかんだ。【全体と部分・対象・接触／結果状態が継続的】

彼は 他人の 腕 つかんだ  
 H1 H0 H1 L2

4-18-a 私は彼がやって来るのを見た。【知覚構文】

彼が やって くんのを 見た  
 H1 H0 L2 H1

4-18-b 私は彼が今日来ることを知っている。【知覚構文】

彼が 今日 来る こと 知ってる  
 H1 L0 L0 H1 L0

4-19 彼は自分（のほう）が勝つと思った。【引用文中の再帰】

彼は 自身が 勝つと 思た  
 H1 H1 L2 H1

「自分」を使うと2人称のようにも受け取れるので、彼自身の意味で「自身」とした。

4-20-a 私は（コップの）水（の一部）を飲んだ。【部分的に及ぶ動作と全体に及ぶ動作】

水 ちょっと 飲んだ  
 H0 H1 L0

4-20-b 私は（コップの）水を全部飲んだ。【部分的に及ぶ動作と全体に及ぶ動作】

水 全部 飲んだ  
 H0 L2 L0

4-21 彼は肉を食べない。【恒常的な否定文】

彼は 肉 食べへん  
 H1 H1 L2

4-22-a 今日は寒い。【感覚述語・非人称文／感覚主体の存在が感じられない、より客観的な表現】

今日 寒い  
 L0 H1

4-22-b 私は（何だか）寒い（私には寒く感じる）。【感覚述語・非人称文／斜格主語】

なんか 寒い  
 L2 H1

4-23 人がとても多かったことに私は驚いた。 【(感情主体が受動的である)感情述語】

人が めっちゃ多かったんで 驚いた  
H0 L0 H2 H3

4-24 雨が降り始めた。 【現象文・現場での直接体験】

雨が 降り始めた  
L2 L0 H2

4-25 この本はよく売れる。 【中間構文】

この 本 よう 売れる  
H0 H1 H1 H0

## 5. 「所有・存在表現」(語研論集 第18号)

5-1 あの人は青い目をしている。／青い目の人・目が青い人 【一体的(譲渡不可能的)な、恒常的な所有(1)】

あの 人 青い 目一 してる /青い 目一の 人・目一 青い 人  
H0 H1 H1 L0 H0 H1 L0 H1 L0 H1 H1

5-2 あの女 {は/の} 髪が長い・あの女は長い髪をしている／長い髪の女・髪の長い女 【一体的な、恒常的な所有(2)】

あの 女 {は/の} 髪 長い/長い 髪の 女・髪 長い 女  
H0 H1 H1 H1 H1 H1 H1 H1 H1 H1

5-3 あの人には髭がある。／髭の男 【非普通所有物】

あの 人 髭 ある /髭の 男  
H0 H1 H0 L0 H0 H1

5-4 あの人には(見る)目がある。／見る目のある人 【慣用句的表現】

あの 人 見る 目が ある /見る 目の ある 人  
H0 H1 L0 H1 L0 L0 L0 L0 H1

5-5 あの人は22歳だ。／22歳の人 【側面語のある表現(1)】

あの 人 二十二歳や /二十二歳の 人  
H0 H1 H1 H1 H1+H1 H1

5-6 あの人は優しい性格だ。／優しい性格の人 【側面語のある表現(2)】

あの 人 優しい 性格や /優しい 性格の 人  
H0 H1 H2 L4 H2 L0 H1  
あの 人 優しい。  
H0 H1 H2



5-7 あの人は背が高い。／背の高い人【側面語のある表現(3)】

あの 人 背一 高い /背一 高い 人  
 H0 H1 H1 H1 H1 H1 H1

5-8 あの人は背が190センチもある。【側面語のある表現(4)、属性数量詞構文】

あの 人 背一 百九十センチも ある  
 H0 H1 H1 H0+L0+ H1 L0

5-9 その石は四角い形をしている。／四角い(形の)石【側面語のある表現(5)】

その 石 四角い 形 してる /四角い 石  
 H0 H1 H2 H0 H0 H2 H1  
 その 石 四角い。  
 H0 H1 H2

5-10 あの人には才能がある。／才能のある人【属性】

あの 人 才能 ある/才能 ある 人  
 H0 H1 H0 L0 H0 L0 H1

5-11 あの人は病気だ。／あの人は熱がある。／病気の人【一時的属性】

あの 人 病気や /あの 人 熱 ある /病気の人  
 H0 H1 H3 H0 H1 H1 L0 L0 H1

5-12 あの人は青い服を着ている。／青い服の男【衣服等(1)】

あの 人 青い 服 着てる/青い 服の 男  
 H0 H1 H1 H1 H0 H1 H1 H1

5-13 あの人はメガネをかけている。／メガネの男【衣服等(2)】

あの 人 メガネ かけて いる/メガネの 男  
 H0 H1 L2 L0 H0 L2 H1

5-14 あの人には妻がいる。／既婚の人・妻のいる人【親族の所有(1)】

あの 人 嫁はん おる/既婚の 人・嫁はん おる 人  
 H0 H1 H0 H1 L0 H1 H0 H1 H1

5-15 あの人には3人子供がいる。／3人の子持ちの人・あの人の3人の子供／妊娠している女性【親族の所有(2)】

あの 人 三人 子供 いてる  
 H0 H1 L3 H0 H1  
 三人の 子持ちの人  
 L3 H0 H1

あの 人の 三人の 子供  
 H0 H1 L3 H0  
 妊娠してる 女性  
 H0 L0

5-16 タコには足が 8 本ある。【普遍的な事実】

タコには 足が 八本 ある。  
 H1 H1 L0 L0

5-17 その飲み物にはアルコールが入っている。／アルコール入りの飲み物【ともに無生物、含有物】

その のみもんには アルコール 入ってる  
 H0 L2 H0 L0  
 アルコール入りの のみもん  
 H0 L2

5-18 あの人はお金を持っている。／お金持ちの人【もっとも一般的な所有、やや恒常的】

あの 人 金 持ってる。／お金持ちの 人  
 H0 H1 H0 L0 L0 H1

5-19 おまえのところには犬がいるか？／犬のいる人【所有、やや恒常的、所有物は有生・家畜】

おまえんとこ 犬 おる？／犬 飼うてる 人  
 L5 H1 H1+R H1 L0 H1

「犬おる人」は、理解はできるが、使用はしない。

5-20 おまえは（自分の）ペンを持っているか？／ペンを持っている人【一時的携帯物・自分のもの】

おまえ ペン 持ってる？／ペン 持ってる 人  
 L0 H1 L0+R H1 L0 H1

5-21 あの人は（誰か別の人の）ペンを持っている。【一時的携帯物・他人のもの】

あの 人 ペン 持ってる  
 H0 H1 H1 L0

5-22 あの人は運がいい。／幸運な人【抽象的・一時的所有物】

あの 人 運が ええ /運が ええ 人  
 H0 H1 L0 L0 L0 L0 H1  
 あの 人 幸運や /幸運な 人  
 H0 H1 H4 H4 H1

5-23 ここは石が多い。／石の多い土地【恒常的存在＞状態／性質】

ここは 石 多い /石が 多い 土地  
 L2 H1 H1 H1 H1 L0

5-24 その部屋には椅子が3つある／3つ椅子のある部屋【非恒常的存在と数量】

|    |      |    |    |    |     |     |    |    |
|----|------|----|----|----|-----|-----|----|----|
| その | 部屋には | 椅子 | 三つ | ある | ／三つ | 椅子が | ある | 部屋 |
| H0 | H1   | H0 | H1 | L0 | H1  | H0  | L0 | H1 |

「3脚」なら後者でも違和感はないが、「3つ」だと後者では若干の違和感はある。

5-25 テーブルの上にスプーンがある。／スプーンのあるテーブル【存在・存在が新情報】

|       |    |      |    |        |    |      |
|-------|----|------|----|--------|----|------|
| テーブルの | 上に | スプーン | ある | ／スプーンが | ある | テーブル |
| H0    | H0 | L2   | L0 | L2     | L0 | H0   |

5-26 そのスプーンはテーブルの上にある。／テーブルにあるスプーン【所在・場所が新情報】

|        |      |       |    |    |
|--------|------|-------|----|----|
| その     | スプーン | テーブルの | 上に | ある |
| H0     | L2   | H0    | H0 | L0 |
| ／テーブルに | ある   | スプーン  |    |    |
| H0     | L0   | L2    |    |    |

5-27 そのペンは私のだ。・そのペンは太郎のだ。／私のペン・太郎のペン【所有物、属格のプロトタイプ】

|    |    |       |      |    |
|----|----|-------|------|----|
| その | ペン | 私のんや  | ／私の  | ペン |
| H0 | H1 | L4    | L0   | H1 |
| その | ペン | 太郎のんや | ／太郎の | ペン |
| H0 | H1 | H1    | H1   | H1 |

5-28 昨日、学校で火事があった。／私は明日用事があります。【できごとの生起】

|    |     |    |     |
|----|-----|----|-----|
| 昨日 | 学校で | 火事 | あった |
| H1 | L0  | H1 | L0  |
| 私  | あした | 用事 | ある  |
| L0 | H0  | H0 | L0  |

5-29 (この世には) お化けなんていない。【実在文】

|        |      |
|--------|------|
| お化けなんか | おらん  |
| L2     | H0   |
| お化けなんか | おらへん |
| L2     | H1   |

5-30 (そこには) 英語を話す人もいるが、話さない人もいる。【絶対存在文(1)】

|    |    |    |       |       |    |     |
|----|----|----|-------|-------|----|-----|
| 英語 | 話す | 人も | おるけど  | 話されへん | 人も | おる  |
| H0 | H0 | H1 | H1    | H3    | H1 | H1  |
| 英語 | 話す | 人も | いてるけど | 話されへん | 人も | いてる |
| H0 | H0 | H1 | H3    | H3    | H1 | H0  |

5-31 私より英語ができる人は（ほかに／もつと）います。【絶対存在文(2)】

|     |    |     |    |    |
|-----|----|-----|----|----|
| 私より | 英語 | できる | 人は | おる |
| L3  | H0 | H0  | H1 | H1 |
| 私より | 英語 | できる | 人は | おる |
| L3  | H0 | H0  | H1 | H0 |

5-32 ちょっとあなたにお願いがあります。【抽象的なことの所有・発話内効力のある文】

|      |      |      |        |
|------|------|------|--------|
| ちょっと | あなたに | お願いが | あります   |
| H1   | L0   | L0   | L0     |
| ちょっと | あなたに | お願いが | あんなやけど |
| H1   | L0   | L0   | L2     |

5-33 冬の雨【時間】 東京の家【場所】

|     |    |
|-----|----|
| 冬の  | 雨  |
| H0  | L0 |
| 東京の | 家  |
| H0  | H1 |

5-34 彼の泳ぎ／犬の鳴き声／火山の爆発【Bが行為を示す名詞である場合の主体】

車の運転【同じく客体／対象】 ～の小説【Aの生産物であるB】

|     |     |
|-----|-----|
| 彼の  | 泳ぎ  |
| H1  | H0  |
| 犬の  | 鳴き声 |
| H0  | H3  |
| 火山の | 爆発  |
| H1  | H0  |
| 車の  | 運転  |
| H0  | H0  |
| 漱石の | 小説  |
| H1  | H0  |

5-35 Xさん（固有名詞）のお母さん【親族】 机の横に／机の前に／\*机に（来て！）【場所名詞】

あの人の次【時間的關係】

|       |      |
|-------|------|
| 田中さんの | お母さん |
| L0    | L2   |
| 机の    | 横に   |
| H0    | H0   |
| 机の    | 前に   |
| H0    | L2   |
| 机に    | 来て   |
| H0    | H0   |

あの 人の 次  
 H0 H1 H1

5-36 バラの花びら【種別】 果物のナイフ【用途】 紙の飛行機【材料・材質】  
 チューリップの絵【内容】 花の匂い【産出物】 英文の手紙【表現形式(?)】  
 日本語の先生【職種】 井戸の水【取得源】[「～の果物」のような産地でも良い]  
 雨の日【状況】

バラの 花びら  
 H0 H3  
 くだもんの ナイフ  
 L2 H1  
 紙の 飛行機  
 H0 L2  
 チューリップの 絵一  
 H1 L0  
 花の 匂い  
 H0 H1  
 英文の 手紙  
 H0 H0  
 日本語の先生  
 H0 H1  
 井戸の 水  
 L2 H0  
 雨の 日一  
 L2 H1

5-37 妹の花子／社長の田中さん 【同格】

妹の 花子  
 H0 H1  
 社長の 田中さん  
 H0 L0

5-38 となりの家の友達のお父さんの車のタイヤ（が昨日突然パンクしたんだって。） 【属格の連続使用】

となりの家の 友達の お父さんの 車の タイヤ  
 H0 H1 H0 L2 H0 H1

6. 「他動性」(語研論集 第19号)

6-1 【直接影響・変化】

6-1-a 彼はそのハエを殺した。

|    |    |    |     |
|----|----|----|-----|
| 彼  | その | ハエ | 殺した |
| H1 | H0 | H0 | H1  |

6-1-b 彼はその箱を壊した。

|    |    |    |     |
|----|----|----|-----|
| 彼  | その | 箱  | 壊した |
| H1 | H0 | H0 | H1  |

6-1-c 彼はそのスープを温めた。

|    |    |     |     |
|----|----|-----|-----|
| 彼  | その | スープ | 温めた |
| H1 | H0 | H1  | H3  |

6-1-d 彼はそのハエを殺したが、死ななかつた。(言えるか?言えないか?)

|    |    |    |       |         |
|----|----|----|-------|---------|
| 彼  | その | ハエ | 殺したけど | 死なへんかつた |
| H1 | H0 | H0 | H1    | H1      |

## 6-2 【直接影響・無変化】

6-2-a 彼はそのボールを蹴った。

|    |    |     |     |
|----|----|-----|-----|
| 彼  | その | ボール | 蹴った |
| H1 | H0 | H0  | H1  |

6-2-b 彼女は彼の足を蹴った。

|    |    |    |     |
|----|----|----|-----|
| 彼女 | 彼の | 足  | 蹴った |
| H1 | H1 | H1 | H1  |

6-2-c 彼はその人にぶつかった (故意に)。

|    |    |    |       |
|----|----|----|-------|
| 彼  | その | 人に | ぶつかった |
| H1 | H0 | H1 | L3    |

6-2-d 彼はその人とぶつかった (うっかり)。

|    |    |    |       |
|----|----|----|-------|
| 彼  | その | 人と | ぶつかった |
| H1 | H0 | H1 | L3    |

「その人に」の方が故意の度合いは強いが、「その人に/と」のどちらでも故意でもうっかりでも言える。

## 6-3 【知覚 2A vs. 2B】

6-3-a あそこに人が数人見える。

|      |    |    |     |
|------|----|----|-----|
| あそこに | 人が | 数人 | 見える |
| L2   | H1 | L0 | L0  |

6-3-b 私はその家を見た。

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 私  | その | 家  | 見た |
| L0 | H0 | H1 | H1 |

6-3-c 誰かが叫んだのが聞こえた。

|    |       |      |
|----|-------|------|
| 誰か | 叫んだんが | 聞こえた |
| L2 | H2    | H2   |

6-3-d 彼はその音を聞いた。

|    |    |    |     |
|----|----|----|-----|
| 彼  | その | 音  | 聞いた |
| H1 | H0 | H1 | H1  |

6-4 【(知覚 2A) 発見・獲得・生産など】

6-4-a 彼は(なくした)カギを見つけた。

|    |    |      |
|----|----|------|
| 彼  | カギ | 見つけた |
| H1 | H1 | H2   |

6-4-b 彼は椅子を作った。

|    |    |     |
|----|----|-----|
| 彼  | 椅子 | 作った |
| H1 | H0 | L2  |

6-5 【追及】

6-5-a 彼はバスを待っている。

|    |    |      |
|----|----|------|
| 彼  | バス | 待ってる |
| H1 | H1 | L0   |

6-5-b 私は彼が来るのを待っていた。

|    |    |      |      |
|----|----|------|------|
| 私  | 彼  | 来んのを | 待ってた |
| L0 | H1 | L2   | L0   |
| 私  | 彼  | 来るんを | 待ってた |
| L0 | H1 | L2   | L0   |

6-5-c 彼は財布を探している。

|    |    |      |
|----|----|------|
| 彼  | 財布 | 探してる |
| H1 | H0 | H0   |

6-6 【知識 1】

6-6-a 彼はいろんなことをよく知っている。

|    |      |    |    |      |
|----|------|----|----|------|
| 彼  | いろんな | こと | よう | 知ってる |
| H1 | L0   | H1 | H1 | L0   |

6-6-b 私はあの人を知っている。

|    |    |    |      |
|----|----|----|------|
| 私  | あの | 人  | 知ってる |
| L0 | H0 | H1 | L0   |

6-6-c 彼はロシア語ができる。

|    |      |     |
|----|------|-----|
| 彼  | ロシア語 | できる |
| H1 | L0   | H0  |

6-7 【知識2】

6-7-a あなたはきのう私が言ったことを覚えていますか？

|     |     |    |     |    |          |
|-----|-----|----|-----|----|----------|
| あなた | きのう | 私が | 言うた | こと | 覚えていますか？ |
| L0  | H1  | L0 | H1  | H1 | H0+R     |

6-7-b 私は彼の電話番号を忘れてしまった。

|    |    |      |     |     |
|----|----|------|-----|-----|
| 私  | 彼の | 電話番号 | 忘れて | しもた |
| L0 | H1 | H4   | H0  | H1  |

6-8 【感情1】

6-8-a 母は子供たちを深く愛していた。

|    |       |    |      |
|----|-------|----|------|
| 母は | 子供たちを | 深く | 愛してた |
| H1 | H3    | L2 | L4   |

6-8-b 私はバナナが好きだ。

|    |     |     |
|----|-----|-----|
| 私  | バナナ | 好きや |
| L0 | L2  | H1  |

6-8-c 私はあの人を嫌いだ。

|    |    |    |     |
|----|----|----|-----|
| 私  | あの | 人  | 嫌いや |
| L0 | H0 | H1 | H3  |

6-9 【感情2】

6-9-a 私は靴が欲しい。

|    |    |     |
|----|----|-----|
| 私  | 靴  | 欲しい |
| L0 | H1 | H1  |

6-9-b 今、彼にはお金が要る。

|    |     |     |    |
|----|-----|-----|----|
| 今  | 彼には | お金が | 要る |
| L0 | H1  | L0  | H0 |



6-10 【感情3】

6-10-a (私の) 母は (私の) 弟がうそをついたのに怒っている。

母は 弟が うそ ついたんに 怒ってる  
H1 H0 L0 L3 H0

6-10-b 彼は犬が怖い。

彼 犬 怖い  
H1 H1 H1

6-11 【関係1】

6-11-a 彼は父親に似ている。

彼 父親に 似てる  
H1 H0 H0

6-11-b 海水は塩分を含んでいる。

海水は 塩分 含んでる  
H0 H1 H0

6-12 【関係2】

6-12-a 私の弟は医者だ。

私の 弟 医者や  
L0 H0 H2

6-12-b 私の弟は医者になった。

私の 弟 医者ん なった  
L0 H0 H0 L0

6-13 【能力1】

6-13-a 彼は車の運転ができる。

彼 車の 運転 できる  
H1 H0 H0 H0

6-13-b 彼は泳げる。

彼 泳げる  
H1 H0

6-14 【能力2】

6-14-a 彼は話をするのが上手だ。

彼 話 すんのん うまい  
H1 H1 H2 H1  
彼 話 すんのん 上手や  
H1 H1 H2 H1

6-14-b 彼は走るのが苦手だ。

|    |      |     |
|----|------|-----|
| 彼  | 走んのん | 苦手や |
| H1 | H3   | L3  |

6-15 【移動】

6-15-a 彼は学校に着いた。

|    |     |     |
|----|-----|-----|
| 彼  | 学校に | 着いた |
| H1 | L0  | L0  |

6-15-b 彼は道を渡った／横切った。

|    |    |      |      |
|----|----|------|------|
| 彼  | 道を | 渡った／ | 横切った |
| H1 | H0 | H1   | H3   |

6-15-c 彼はこの道を通った。

|    |    |    |     |
|----|----|----|-----|
| 彼  | この | 道を | 通った |
| H1 | H0 | H1 | H1  |

この文で「を」がないと、「彼はこの道を通ったことがある」といった感じで経験の意味が強くなる。

6-16 【感覚1】

6-16-a 彼はお腹を空かしている。

|    |     |       |
|----|-----|-------|
| 彼  | 腹   | へってる  |
| H1 | H1  | H0    |
| 彼  | お腹を | 空かしてる |
| H1 | L0  | H0    |

6-16-b 彼は喉が渴いている。

|    |    |      |
|----|----|------|
| 彼  | 喉  | 渴いてる |
| H1 | L0 | H0   |

6-17 【感覚2】 [完全な一項、もしくは0項の感覚述語である。]

6-17-a 私は寒い。

|     |    |
|-----|----|
| (私) | 寒い |
| L0  | H1 |

6-17-b 今日は寒い。

|     |    |
|-----|----|
| 今日は | 寒い |
| L2  | H1 |

6-18 【(社会的) 相互行為 1】

6-18-a 私は彼を手伝った／助けた。

|    |    |               |
|----|----|---------------|
| 私  | 彼を | 手伝った／手伝うた／助けた |
| L0 | H1 | H3 H3 H2      |

6-18-b 私は彼がそれを運ぶのを手伝った。

|    |    |    |     |      |
|----|----|----|-----|------|
| 私  | 彼が | それ | 運ぶん | 手伝うた |
| L0 | H1 | H0 | H3  | H3   |

6-19 【(社会的) 相互行為 2 (言語行動)】

6-19-a 私はその理由を彼に聞いた。

|    |    |    |    |     |
|----|----|----|----|-----|
| 私  | その | 理由 | 彼に | 聞いた |
| L0 | H0 | H0 | H1 | H1  |

6-19-b 私はそのことを彼に話した。

|    |    |    |    |     |
|----|----|----|----|-----|
| 私  | その | こと | 彼に | 話した |
| L0 | H0 | H1 | H1 | H1  |

6-20 【再帰・相互】

6-20-a 私は彼と会った。

|    |    |     |
|----|----|-----|
| 私  | 彼と | 会うた |
| L0 | H1 | L0  |

7. 「連用修飾的複文」(語研論集 第20号)

7-1 彼はいつも新聞を読みながらご飯を食べる。【同時動作】

|    |     |    |       |    |      |
|----|-----|----|-------|----|------|
| 彼  | いつも | 新聞 | 読みながら | 飯  | 食うてる |
| H1 | L3  | L0 | L0    | H1 | L0   |

7-2 (私は) 昨日は九時に家に帰って、少しテレビを見て(から)、寝ました。【継起的動作・物語的連鎖】

|     |     |    |     |    |     |      |    |
|-----|-----|----|-----|----|-----|------|----|
| 昨日は | 九時に | 家に | 帰って | 少し | テレビ | 見てから | 寝た |
| H1  | H1  | H1 | H1  | H2 | L2  | H0   | H1 |

7-3 (私は) 昨日階段で転んで、ケガをしてしまった。【継起：理由】

|    |     |     |    |    |     |
|----|-----|-----|----|----|-----|
| 昨日 | 階段で | 転んで | ケガ | して | しもた |
| H1 | H0  | H1  | H1 | H0 | H1  |

7-4 今日父は会社に行って、兄は大学に行った。【異主語】

|     |    |     |     |    |     |     |
|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|
| 今日も | 父は | 会社に | 行って | 兄は | 大学に | 行った |
| L2  | H1 | L0  | H1  | H1 | H0  | H1  |

7-5 (あの人は) 今日帽子をかぶって歩いていた。【付帯状況】

今日は 帽子を かぶって 歩いた  
L2 L0 H1 L4

7-6 (私は) 休みの日にはいつも本を読んだり、テレビを見たりしています。【並行動作】

休みの 日ーにはいつも 本 読んだり テレビ 見たり します  
H0 H1 L2 H1 L3 H1 H1 H0

7-7 時間がないから、急いで行こう。【理由・カラ】

時間 ないから 急ご  
H0 L3 H0  
時間 ないんで 急ご  
H0 L2 H0

7-8 昨日は頭が痛かったので、いつもより早く寝ました。【理由・ノデ】

昨日 頭 痛かったんで いつもより はよ 寝た  
H1 L2 H2 L2 L0 H1

「痛かったから」でも違和感はないが、「ないから」と比べると好みではない。話し言葉としては、いずれも「んで」の方が自然。

7-9 あの人は本を買いに行った。【趨向／移動の目的】

あの 人 本 買いに 行った  
H0 H1 H1 H0 H1

7-10 (彼は) 外がよく見えるように窓を開けた。【目的・意図】

外が よう 見えるように 窓 開けた  
L2 H1 L4 L0 H1

7-11 ここでは夏になると、よく雨が降ります。【恒常的条件】

ここでは 夏ん なったら よう 雨 降ります  
L2 H1 L3 H1 L0 L0  
ここでは 夏ん なんと よう 雨 降ります  
L2 H1 L0 H1 L0 L0

7-12 窓を開けると、冷たい風が入って来た。【確定条件・生起】

窓 開けたら 冷たい 風 入って 来た  
L0 H1 H2 H0 L0 H1  
窓 開けると 冷たい 風 入って 来た  
L0 H0 H2 H0 L0 H1

7-13 坂を上ると、海が見えた。【確定条件・発見】

|    |      |    |     |
|----|------|----|-----|
| 坂  | 上ったら | 海  | 見えた |
| H1 | H1   | L0 | L2  |
| 坂  | 上ると  | 海  | 見えた |
| H1 | H0   | L0 | L2  |

7-14 明日雨が降ったら、私はそこに行かない。【仮定条件】

|     |    |      |    |     |      |
|-----|----|------|----|-----|------|
| あした | 雨  | 降ったら | 私  | そこに | 行かへん |
| H0  | L0 | L3   | L0 | L2  | H1   |

条件形は恒常／確定／仮定に関わらず、「たら」で言うのが自然である。仮定で「と」を用いるのは不自然に感じる。

7-15 もっと早く起きればよかったなあ。【反実仮想】

|     |    |      |        |
|-----|----|------|--------|
| もっと | はよ | 起きたら | よかったなあ |
| H1  | L0 | L2   | H1+F   |
| もっと | はよ | 起きれば | よかったなあ |
| H1  | L0 | L2   | H1+F   |

7-16 あんなところへ行かなければよかった。【反実仮想・前件否定】

|     |     |        |      |
|-----|-----|--------|------|
| あんな | ところ | 行かなんだら | よかった |
| H0  | H1  | H1     | H1   |
| あんな | ところ | 行かなけりゃ | よかった |
| H0  | H1  | H3     | H1   |

7-17 1に1を足せば、2になる。【一般的真理】

|    |    |      |     |    |
|----|----|------|-----|----|
| 1に | 1  | 足したら | 2-に | なる |
| H1 | H1 | H1   | L0  | L0 |
| 1に | 1を | 足せば  | 2-に | なる |
| H1 | H1 | H1   | L0  | L0 |

7-18 駅に着いたら電話をしてください。【仮定条件+働きかけのモダリティ】

|    |      |    |    |       |
|----|------|----|----|-------|
| 駅に | 着いたら | 電話 | して | くれへんか |
| H1 | L2   | H0 | H0 | H1    |
| 駅に | 着いたら | 電話 | して | ください  |
| H1 | L2   | H0 | H0 | H2    |

7-19 日曜日になったら、みんなで公園に行きたいなあ。【仮定条件+願望】

|     |      |      |     |        |
|-----|------|------|-----|--------|
| 日曜ん | なったら | みんなで | 公園に | 行きたいなあ |
| H3  | L3   | L2   | H0  | H2+F   |

7-20 明日雨が降ったら困るなあ。【心配】

あした 雨 降ったら 困るなあ  
H0 L0 L3 H0+F

7-21 家に来るなら、電話をしてから来てください。【時間的前後関係に則していないナラ条件文】

家に 来るんやったら 電話 してから 来て くれ  
H1 L2 H0 H0 H0 H1  
家に 来るなら 電話 してから 来て ください  
H1 L2 H0 H0 H0 H2

7-22 (もうすぐベルが鳴るので) 鳴ったら、教えてください。【予想を伴った条件文】

鳴ったら 教えて  
H1 H0

7-23 (もしかしたらベルが鳴るかもしれないので) もし鳴ったら、教えてください。【予想を伴わない条件文】

もし 鳴ったら 教えて  
H1 H1 H0

7-24 働かざるもの食うべからず。／働かない者は、食べるべきではない。【相関構文】

働かざるもの 食う べからず  
H5 H1 L0 H3  
働かない者は 食べる べきではない  
H4 H1 L0 H1 L0

7-25 もう少しお金があつたらなあ。【言いさし・願望】

もう ちょい 金 あつたらなあ  
H0 H1 H0 L3+F

7-26 これも食べたら? 【言いさし・提案】

これも 食べたら  
H2 L2+R

7-27 (やりたいなら自分の) 好きなようにやれば? 【言いさし・つき放し】

好きな ように やったら?  
L0 H1 H1+R  
好きな ように やれば  
L0 H1 H1+R

7-28 このコップは落としても割れない。【仮定的な逆接】

この コップ 落としても 割れへん  
H0 H1 H1 H1

7-29 このリンゴは高かったのに、ちっとも甘くない。【アクチュアルな逆接】

この リンゴ 高かったのに ちっとも 甘く ない  
 H0 H1 H2 L3 L2 L0

7-30 彼の家に行ってみたけれども、彼はいなかった。【逆接3】

彼んちに行つて みたけど 彼 おらへんかった  
 H1 H0 H1 H1 H1

7-31 あの人があるまで、私はここで待っています。【時間的期限[1]】

あの 人が 来るまで 私 ここで 待ってます  
 H0 H1 L3 L0 L2 L0

7-32 あの人があるまでに、食事を作っておきますよ。【時間的期限[2]】

あの 人が 来るまでに 飯 作っとくよ  
 H0 H1 L3 H1 L5

## 8. 「情報構造と名詞述語文」(語研論集 第21号)

8-1 えっ、A (固有名詞) が来たの? / いや、A じゃなくて B が来たんだ。【対比焦点 (主語)】 (例えば、昨日の集まりに珍しくやって来た人についての会話で)

えー 田中が 来たん? / ちゃう 田中や のうて 山田が 来たんや  
 L0 L0 H1+R H1 L3 H1 L0 H1

8-2 誰が来たの? / A が来たよ。【WH 焦点 (主語)・WH 応答焦点 (主語)】

誰が 来たん? / 田中が 来たわ  
 H0 H1+R L0 H1

8-3 A のほうが大きいんじゃないの? / いや、A じゃなくて、B のほうが大きいんだよ。【YesNo 疑問・形容詞述語応答焦点】

田中の ほうが 大きいん ちゃうの?  
 L0 H1 H2 H1+R  
 / ちゃう 田中や のうて 山田の ほうが 大きいわ  
 H0 L3 H1 L0 H1 H2

8-4 (電話で) どうしたの? / うん、今、お客さんが来たんだ。【文焦点 (自動詞文)】

どない したん? / あんなあ 今 お客さん 来てん  
 H0 H1 L0+R L0 L0 H1

8-5 あの子供が A を叩いたんだって! / いや、A じゃなくて、B を叩いたんだよ。【対比焦点 (目的語)】

あの 子ー 田中 叩いたん?  
 H0 H0 L0 H2+R

いや 田中や のうて 山田を 叩いたんや  
 H0 L3 H1 L0 H2

8-6 赤い袋と青い袋があるけど、どっちを買うの？／（私は）青い袋を買うよ。【対比焦点（目的語、特に「どっち」という対比的な疑問語の場合）】

赤い 袋と 青い 袋が あんねやけど どっち 買うん？  
 H1 L2 H1 L2 L2 L0 H1  
 青い 袋 買うわ  
 H1 L2 H1

8-7 Aはどこですか？／Aは朝からどっかへでかけたよ。【述語焦点】（例えば、朝少し遅く起きて来たAの父親が、姿の見えないAについて母親に尋ねている場面で）

田中 どこ 行ったん？  
 L0 H0 H1  
 田中は 朝から どっか でかけてった  
 L0 L2 H1 H4

8-8 （あの子供は）誰を叩いたの？／（あの子供は）自分の弟を叩いたんだ。【WH 焦点（目的語）・WH 応答焦点（目的語）】

誰 叩いたん？  
 H0 H2+R  
 あの 子の 弟を 叩いたんや  
 H0 H1 H0 H2

8-9 （電話で）どうしたの？／うん、Aが（自分の）弟を叩いたんだ。【文焦点（他動詞文）】（例えば、電話の向こうで子供の泣き声がかきたのを聞いての発話）

どない したん？／うん 田中が 弟を 叩いたんや  
 H0 H1 H1 L0 H0 H2

8-10 あのケーキ、どうした？／（ああ、あれは）Aが食べちゃったよ。【目的語主題化、主題（目的語）の継続性 いわゆる pro-drop 言語の可能性】

あの ケーキ どない したん？／田中が 食べて した  
 H0 H1 H0 H1 L0 L0 H1

8-11 私が昨日お店から買って来たのはこの本だ。【分裂文】

私が 昨日 お店から 買って 来たのは この 本や  
 L0 H1 L0 H0 H1 H0 H1

8-12 あの人は先生だ。この学校でもう 20 年働いている。【措定文 主題（名詞述語文の主語）の継続性 いわゆる pro-drop 言語の可能性】

あの 人 先生や この 学校で もう 20 年 働いてはる  
 H0 H1 H1 H0 L0 H0 H2 H0



8-13 彼のお父さんは、あの人だ。【倒置同定文】

彼の お父さんは あの 人や  
 H1 L2 H0 H1

8-14 あの人が彼のお父さんだ。【同定文】

あの 人が 彼の お父さんや  
 H0 H1 H1 L2

8-15 あさってってというのはね、明日の次の日のことだよ。【定義文】

あさってって いうんは あしたの 次の 日ーの ことやで  
 H4 H2 H0 H0 H1 H1+H

8-16 (何人かで入った喫茶店で注文を聞かれて) 私はコーヒーだ。【ウナギ文】

おれ コーヒー  
 H0 L3

この形式で、コーヒーの後に「や」をつけるのは、かなり不自然である。私自身は全くもって言えない。

8-17 [(注文した数人分のお茶が運ばれてきて) どなたがコーヒーですか?との問いに] コーヒーは私だ。【逆行ウナギ文】

コーヒー おれや  
 L3 H2

8-18 その新しくて厚い本は(値段が)高い。【形容詞述語文 修飾・並列・述語】

その 新しくて厚い 本は 高い  
 H0 H4 H1 H1 H1

8-19 (砂糖入れを開けて) あっ、砂糖が無くなっているよ! 【意外性 (mirativity)】

あっ 砂糖 無くなってるで  
 H0 H1 H0+H

8-20 午後、誰かに会うはずだったなあ。誰だったっけ? あっ、そうだ、～君だったな。【思い出し】

午後 誰かに 会う はずやったなあ 誰やったっけ  
 L0 L2 L0 H2+F H2  
 そや 田中君やったなあ  
 H1 L2+F

9. 「情報標示の諸要素」(語研論集 第22号)

9-1 この土地は野菜がよく育つ。だから高い値段で売れるだろう。【統語的に動詞の必須項ではない名詞の統語的軸項としての機能】

|    |     |     |    |    |     |    |     |     |     |
|----|-----|-----|----|----|-----|----|-----|-----|-----|
| この | 土地は | 野菜が | よく | 育つ | だから | 高い | 値段で | 売れる | やろう |
| H0 | L0  | L0  | H1 | H0 | H1  | H1 | H0  | H0  | L2  |

9-2 私は頭が痛い。だから今日は休む。【話し手のなわ張り内・聞き手のなわ張り外、統語的軸項としての機能】

|    |    |    |     |     |    |
|----|----|----|-----|-----|----|
| 私は | 頭が | 痛い | だから | 今日は | 休む |
| L0 | H1 | H1 | H1  | L2  | H0 |

9-3 あの人だけ、時間通りに来た。【限定】

|    |    |    |       |    |
|----|----|----|-------|----|
| あの | 人  | だけ | 時間通りに | 来た |
| H0 | H1 | H0 | H4    | H1 |

9-4 これはここでしか買えない。【限定・否定との共起】

|     |       |       |
|-----|-------|-------|
| これは | ここでしか | 買われへん |
| H0  | L2    | H2    |

9-5 その家にいたのは子供ばかりだった。【限定・多数】

|    |    |       |    |        |
|----|----|-------|----|--------|
| その | 家に | おったんは | 子供 | ばかりやった |
| H0 | H1 | H1    | H0 | L3     |

9-6 次回こそ、失敗ないようにしよう。【限定・強調】

|    |    |    |      |
|----|----|----|------|
| 次  | こそ | 失敗 | せんとこ |
| H1 | H1 | L0 | H0   |

9-7 疲れたね、お茶でも飲もう。【反限定・例示】

|       |      |     |
|-------|------|-----|
| 疲れたなあ | 茶一でも | 飲もか |
| H2+F  | L3   | L0  |

9-8 水さえあれば、数日間は大丈夫だ。【極端・意外】

|     |      |      |      |
|-----|------|------|------|
| 水さえ | あったら | 数日間は | 大丈夫や |
| H3  | L3   | L4   | H3   |

9-9 小さい子供まで、その仕事の手伝いをさせられた。【極端・意外】

|     |      |    |     |     |       |
|-----|------|----|-----|-----|-------|
| 小さい | 子一まで | その | 仕事の | 手伝い | させられた |
| H2  | H2   | H0 | H0  | H1  | H3    |

9-10 私はお金なんか欲しくない。【反極端・低評価】

|    |      |    |      |
|----|------|----|------|
| 私  | 金なんか | 欲し | ないねん |
| L0 | H2   | L0 | L2   |

9-11 自分の部屋ぐらい、自分できれいにしなさい。【反極端・最低限】

自分の 部屋ぐらい          自分で   きれいに   せーや  
L0        H1                    L0        H1        H1

9-12 私にもちょうだい。【類似・累加】

私にも   ちょうだい  
L0        H0

9-13 お父さんもう帰って来たね。お母さんは？【反類似・対比（疑問）】

お父さん   もう        帰って   来たなあ   お母さんは  
L2        H0        H0        H1+F    L2+R

9-14 誰か（が）電話してきたよ。【特定未知（specific unknown）】

誰か        電話して   きたで  
L2        H0        H1

9-15 誰かに聞いてみよう。【非現実不特定（irrealis non-specific）】

誰かに   聞いて   みよ  
L2        H0        L0

9-16 私のいない間に誰か来た？【疑問（question）】

私        おらん   間に        誰か        来た？  
L0        H0        H0        L2        H1+R

9-17 誰か来たら、私に教えてください。【条件節内（conditional）】

誰か        来たら   私に        教えて  
L2        H1        L0        H0

9-18 今日は誰も来るとは思わない。／今日は誰も来ないと思う。【間接（全部）否定（indirect negation）】

今日は   誰も        来るとは   思わん  
L2        L2        L3        H0  
今日は   誰も        来んと        思う  
L2        L2        H1        H0

9-19 そこには今誰もいないよ。【直接（全部）否定（direct negation）】

そこには   今        誰も        おらへんで  
L3        L0        L2        H1

9-20 （それは）誰でもできる。【自由選択（free-choice）】

誰でも        できる  
L3        H0

- 9-21 そんなこと (は)、みんな知っているんじゃないか!? 【自由選択を示す「みんな」】  
 そんなん みんな 知ってるん ちゃうん  
 H1 L2 L4 H2

「知ってるんちゃうん」の後に曲線上昇調を加えるのは、かなり不自然である。

- 9-22 そんなもの、誰が買うんだよ!? 誰も買うわけじゃないか! 【反語】  
 そんなん 誰が 買うねん 誰も 買わへんやろ  
 H1 H0 H2 L2 H1  
 そんなん 誰が 買うねん 誰も 買わんやろ  
 H1 H0 H2 L2 H3

- 9-23 君は英語がうまいね。【話し手のなわ張り内・聞き手のなわ張り内】  
 あんた 英語 うまいなあ  
 L0 H0 H1+F

- 9-24 君は退屈そうだね。【話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り内】  
 あんた 退屈そうやなあ  
 L0 H4+F

- 9-25 明日も寒いらしいよ。【話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り外】  
 あしたも 寒いらしいで  
 H3 H1

#### 10. 「否定、形容詞と連体修飾複文」(語研論集 第23号)

- 10-1 これは私の本ではない。【名詞述語文/コピュラ文の否定】  
 これ 私の 本や ない  
 H0 L0 H1 L0

#### 10-2 この部屋には椅子がない。【存在文の否定】

- この 部屋には 椅子が ない  
 H0 H1 H0 L0  
 この 部屋には 椅子が あらへん  
 H0 H1 H0 L2

#### 10-3 この部屋には一つも椅子がない。【全部否定・モノ】

- この 部屋には 一こも 椅子が ない.  
 H0 H1 L3 H0 L0  
 この 部屋には 一こも 椅子が あらへん  
 H0 H1 L3 H0 L2

10-4 その部屋には誰もいない。【全部否定・ヒト】

|    |      |    |      |
|----|------|----|------|
| その | 部屋には | 誰も | おらへん |
| H0 | H1   | L2 | L2   |
| その | 部屋には | 誰も | おらん  |
| H0 | H1   | L2 | H0   |
| その | 部屋には | 誰も | いてへん |
| H0 | H1   | L2 | H2   |
| その | 部屋には | 誰も | いてない |
| H0 | H1   | L2 | H2   |
| その | 部屋には | 誰も | いない  |
| H0 | H1   | L2 | H1   |

10-5 その本はこの部屋にない。【所在文の否定】

|    |    |    |     |      |
|----|----|----|-----|------|
| その | 本  | この | 部屋に | ない   |
| H0 | H1 | H0 | H1  | L0   |
| その | 本  | この | 部屋に | あらへん |
| H0 | H1 | H0 | H1  | L2   |

10-6 この犬は大きくない。【形容詞文の否定】

|    |    |     |     |
|----|----|-----|-----|
| この | 犬  | 大きく | ない  |
| H0 | H1 | H3  | L0. |

10-7 この犬はあまり大きくない。【形容詞文の部分否定】

|    |    |     |     |    |
|----|----|-----|-----|----|
| この | 犬  | あまり | 大きく | ない |
| H0 | H1 | H0  | H3  | L0 |

10-8 この犬はあの犬より大きい。【比較級】

|    |    |    |     |     |
|----|----|----|-----|-----|
| この | 犬  | あの | 犬より | 大きい |
| H0 | H1 | H0 | H1  | H2  |

10-9 この犬がその犬たちの中で一番大きい。【最上級】

|    |    |    |        |    |     |    |
|----|----|----|--------|----|-----|----|
| この | 犬が | その | 犬たちの中で | 一番 | 大きい |    |
| H0 | H1 | H0 | H2     | L2 | H0  | H2 |

10-10 今日はあの人は来ない。【自動詞文の否定】

|     |    |    |     |
|-----|----|----|-----|
| 今日は | あの | 人  | けへん |
| L2  | H0 | H1 | H1  |

10-11 あの人はその本を持って行かなかった。【他動詞文の否定】

|    |    |    |    |     |       |
|----|----|----|----|-----|-------|
| あの | 人  | その | 本  | 持って | 行かなんだ |
| H0 | H1 | H0 | H1 | L0  | H2    |

あの 人 その 本 持って 行かんかった  
H0 H1 H0 H1 L0 H3

10-12 全ての学生が参加しなかった。／学生は全員参加しなかった。【数量の全部否定】

全ての 学生が 参加せへんかった  
L2 H0 L4  
学生は 全員 参加せへんかった  
H0 H0 L4

10-13 全ての学生が参加したわけではない。【数量の部分否定】

全ての 学生が 参加したわけや ない  
L2 H0 L4 L2 L0

10-14 (私は買わなかった。しかし、決して) 値段が高いというわけではない。【文の否定】

値段が 高いと いう わけや ない  
H0 H1 H0 L2 L0

10-15 走るな！【禁止】

走んな  
H3

10-16 大きな声を出すな！【他動詞文の禁止】

大声 出すな  
H3 L2

10-17 明日は雨は降らないだろう。【推量の否定】

あしたは 雨 降らへんやろう  
H0 L0 L2

10-18 あの人に聞こえないように、小さな声で話してくれ。【目的節の否定】

あの 人に 聞こえんように 小さい 声で 話して くれ  
H0 H1 H5 H2 L2 H0 H1

10-19 私はあなたを怒らせようと思ってそう言ったんじゃない。【否定のスキープの調節】

私 あんたを怒らせようと思て そう 言うたんや ない  
L0 L0 H5 H1 H0 H1 L0

10-20 私が昨日買って来た本はどこ(にある)? 【内の関係の連体修飾節・目的語】

私が 昨日 買って きた 本 どこ?  
L0 H1 H0 H1 H1 H0

10-21 その本を持って来た人は誰（か）？【内の関係の連体修飾節・主語】

その 本 持って 来たん 誰？  
 H0 H1 L0 H1 H0

「どこ」「だれ」に対して、曲線上昇調を加えるのはかなり不自然である。一方で、プロミネンスによって、アクセントは変えずに語全体をさらに高くするのは自然である。

10-22 この部屋が私たちの仕事をしている部屋です。【内の関係の連体修飾節・場所】

この 部屋が 私たちの仕事を してる 部屋です  
 H0 H1 L3 H0 H0 H1

10-23 足が一本折れたあの椅子はもう捨ててしまった。【内の関係の連体修飾節・所有者】

足が 一本 折れた あの 椅子 もう 捨てて した  
 H1 L0 L2 H0 H0 H0 H0 H1

10-24 ドアを叩いている音が聞こえる。【外の関係の連体修飾節】

ドア 叩いてる 音 聞こえる  
 H1 H0 H1 H0

10-25 あの人結婚したという噂は本当（か）？【外の関係の連体修飾節】

あの 人が 結婚したと いう 噂は ほんま？  
 H0 H1 H5 H0 H0 L0+R

10-26 私はその人が来た時にご飯を食べていた。【時間節】

私は その 人が 来た 時に 飯 食うてた  
 L0 H0 H1 H1 H1 H1 L3

10-27 私はその人が待っている所に行った。【場所節】

私は その 人が 待ってる ところに 行った  
 L0 H0 H1 L0 H1 H1

10-28 私はその人が走っていったのを見た。【補文節・視覚】

私は その 人が 走ってったんを 見た  
 L0 H0 H1 H4 H1

10-29 昨日の夜、私は彼らがしゃべっているのを聞いた。【補文節・聴覚】

昨日の 夜 私 彼らが しゃべってるんを 聞いた  
 H0 L0 L0 H1 H5 H1

10-30 私はその人が昨日ここに来たことを知っている。【補文節・知識】

私 その 人 昨日 ここに 来たん 知ってる  
 L0 H0 H1 H1 L2 H1 L0

10-31 (昨日) 彼は彼が今日ここに来たと言った。／(昨日) 彼は、「私は今日ここに来た」と言った。

【補文節・直接発話／間接話法】

私は間接話法が言えないので、直接話法のみとなる。書きことばでは理解はできるが、使えない。

彼は 「私は 今日 ここに 来た」と言った  
H1 L0 L0 L2 H1 H1

10-32 私はリンゴが(あの)皿の上にあったのを食べた。【内在節・従主・主主】

私は リンゴが 皿の 上に あったのを 食うた  
L0 H1 H0 H0 L3 L0

10-33 私はネコが家に入ってきたのを捕まえた。【内在節・従主・主目】

私は ネコが 家に 入って きたのを 捕まえた  
L0 H1 H1 L0 H1 L3

執筆者連絡先： ICG01649@nifty.com

原稿受理：2022年8月15日